

## 「中世英文学研究会」「中世英文学談話会」研究発表・シンポジウム・講演会等の記録

1985年発足の「日本中世英語英文学会」には、その前身として標記の研究会活動がありました。それぞれについて活動の場に関わった方々の寄稿文が、すでに学会HPに掲載されていますのでお読み下さい。

「中世英文学研究会」（以下「研究会」）は、第1回例会を1965年5月に開き、以後1984年11月まで続き40回を重ねました。1年に2回が原則ですが、1976年には研究発表2回、シンポジウム2回、計4回開催という盛況でした。

「中世英文学談話会」（以下「談話会」）は、第1回研究発表会を1966年11月に開き、1984年7月の第32回まで、毎年1回ないし2回の研究発表会を開きました。第2回までは、研究会とシンポジウムが別立てで回数を数えています。研究発表会と同時の特別講演のほか、別日程で海外の著名な研究者による特別講演会が11回を数えます。

それぞれの発表要旨も公開したいところですが、今回は実記録の部分を掲載します。

「研究会」については、佐々部英男先生による「中世英文学研究会の歩み」から再録、「談話会」については「中世英文学談話会会報」から再録しました。（後者については、9号が未だ入手できず、第6回・第7回研究発表会その他のデータが欠けていますことをお詫びいたします。ご提供頂ければ、データに追加します。）

なお、「談話会」は、1958年-1966年に同じ談話会の名で研究会が開かれていました。1960年度までは各年度8回の例会、以後回数は減り1964年度は中断、再開して「談話会」へ移行しています。繁尾久先生の記録（一部手書きを含む）を松田英先生からご提供頂いております。まさに揺籃期の情熱を感じさせるもので、いずれデータとして残しておきたいと思っておりますが、今回は概要をここに記すに留めました。

資料をご提供頂いた佐々部英男先生、齋藤勇先生、池上忠弘先生、松田英先生に御礼申し上げます。

2005年8月

日本中世英語英文学会小史編纂委員会委員

文責：委員長 池上恵子